

## Kiwi Grip FAQ & ヒント集

Q: Kiwi Grip って何がそんなに特別ななの？

A: 主に下記点において、一般的なデッキペイントと大きく異なります。

- ・水性アクリル塗料だから扱いやすく水と石鹼で簡単に落とせる
- ・有機溶剤をほとんど含んでおらず、安全な塗料
- ・均一なゲル状の塗料で塗装時の力加減により表面の質感を自在に変えられる
- ・基材のサンディングが不要、幅広い基材に使用可能、上塗り、塗り直しも OK

Q: 塗装時の力加減で表面の質感が変わるといのは？

A: 専用ローラーで「ツノ」を作ることでノンスリップ加工を施す塗料なんです！

Kiwi Grip を塗布する際、塗り伸ばしは刷毛などで行えますが、仕上げは必ず専用のローラーで行う必要があります。ループ状の穴が無数に空いた粗いスポンジ状のローラーを押し当てることで Kiwi Grip をツノのように尖らせ、ギザギザした面を作ります。このローラーを押し当てる力が強ければ、より背の高いツノを作って粗い面を作ることが出来ます。逆に軽く塗り伸ばすようにローラーを当てれば細かいギザギザを作れます。また、仕上げ時に少し時間をおいて塗料の粘度が増してからローラーをかけることで、通常より更に粗い凹凸面を作るなどの調節も可能です。基本的にとっても簡単に扱える製品ですが、工夫と加減次第で様々なことが出来る製品でもありますので、初めて Kiwi Grip をお使いの際は廃材などで練習して頂くとより自在にお好みの質感に仕上げられます。

Q: マスキングは必要ですか？

A: 必須ではありませんが強く推奨します。

マスキングテープを使用する際は Kiwi Grip が乾燥してしまう前に剥がしてください。塗料が乾燥してしまうとナイフでの切り離しが必要になります。マスキングテープを剥がす際は、若干塗装面に向けて角度を付けるように引っ張れば美しく剥がせます。塗装されていない面に向けて引っ張ると後々清掃が必要になる場合があります。

Q: 均一な厚みに仕上げるコツはありますか？

A: ズバリ！たっぷり使いましょう！

この塗料は仕上げの段階でローラーにより凹凸のある面に仕上げるという製品の特性上、通常の塗料よりたっぷり塗布したほうが良い結果が得られます。大きめの刷毛で厚めに塗布した上で仕上げをするか、3mm 程度のギザギザエッジがついたスクレーパーで塗り伸ばすことで均一な塗装面を作ることが出来ます。また、基材の色が濃い場合は一度の厚塗りより薄めに二度塗りすることをお勧めします。基材の色が出てしまっている薄い部分は二度目の塗装で調節してください。

Q: 古いノンスキッドペイントの上に塗れるの？

A: 完全に落とさなくても上塗り可能です。

1.5mm 程度の凹凸なら隠せますので、多少凸凹が残ったままでもそのまま上塗り出来ます。状況によってはワイヤーブラシなどで古い塗装面を擦り、角を丸めておけば確実です。ボートクリーナーと水で塗装面をよく洗浄してから塗装してください。

Q: 自分で塗料の色を変えられますか？

A: 可能です。

Kiwi Grip は水性塗料なので、お好みの色に着色することが出来ます。この場合は白をお求めください。着色の際は塗料に対して着色料の割合が 2%を超えないようご注意ください。混合量が多すぎると製品の品質が著しく低下することがあります。このため濃い色をつけることは出来ません。あくまでも多量の白に若干着色する程度とお考えください。また、Kiwi Grip の定番カラーは直射日光を浴びた際に眩しくなく、かつデッキの温度を上げないことを念頭に選定されております。

Q: ガソリンやシンナーをこぼしても大丈夫ですか？

A: 揮発油との接触は避けてください。

コーラやお酒などであれば問題ありませんが、ガソリンやアセトンなどは塗装面を損傷する恐れがありますのでこぼさないよう十分ご注意ください。万が一こうした物質が付着した場合はすぐに拭き取り、ボートクリーナーと水、柔らかい刷毛などでよく洗い流してください。

Q: 塗装面の耐久力ほどの程度ですか？

A: 状況によりますが「1000 日」以上は大丈夫です。

週末のクルージングに出かけるのみ、という方の場合は 10 年以上の耐久性が期待出来ます。しかし、頻繁にお出かけされる方の場合は耐用年数が短くなる場合があります。また、人がよく歩く場所は塗装面の劣化が早まります。こうした状況によって耐久性は大きく左右されますが、「船の使用日数」で考えれば 1000 日程度は通常問題ありません。

Q: カビや汚れには強いのですか？

A: 塗料自体はカビや汚れに強いものです。

アクリルはカビの繁殖や汚れの吸収が起こりにくい性質の塗料です。しかし、多くの凹凸があるというノンスキッドペイントの特性上、凹凸の内部に汚れが溜まりがちです。さらに、その汚れにカビが発生するなどの二次的なトラブルもあります。ボートクリーナーと水で定期的に清掃を行ってください。また、コーヒーやワインなどの染みも残りにくい塗料です。

Q: 塗装面を美しく保つにはどうすれば良いのですか？

A: ボートクリーナーと水による洗浄を定期的に行いましょう。

凹凸面に十分入り込める柔らかいブラシで清掃して頂ければ美しい面を保てます。また、ブラシで落とせない頑固な汚れには高圧洗浄機も使用できます。ブリーチも使用できますが、きついものを使用すると塗装面を傷めることがあります。

Q: デッキの修繕が必要な場合、Kiwi Grip を剥がせますか？

A: 残念ながら「力技」が主な手段となります。

ノンスキッドペイント全体に言えることですが、剥がしたい時にさっと剥がす有力な手段はありません。サンディングして取り除くのが最も現実的です。或いは、加熱することによって塗料が柔らかくなりますので、ヒートガンによる加熱とスクレイパーによる削り取りで大まかな部分は除去出来る場合があります。また、Kiwi Grip は塗料自体を粗い面に仕上げるという性質上、塗り直しを行った際に既存の塗装面と新たな塗装面とがよく馴染み、新旧塗装面の境界がほぼ分からなくなります。

Q: 缶の中で塗料の粘度が増してきたのですが？

A: この塗料は水で薄められます

水性塗料なので水を加えることで薄められます。ただし分量には十分ご注意ください。

Q: 金属やコンクリートにも塗装できますか？

A: プライマーを使用すれば可能です。

Kiwi Grip はシーラントとしての機能は持っていません。このため塗装面に水が染み込むことを防ぐ必要があります。エポキシプライマーを使用してください。

Q: どのようなコーキング剤と相性が良いですか？

A: ポリウレタン系のコーキング剤でテストを行っています。

多硫化物系のシーラントとは反応する可能性がありますので接触を避けてください。

Q: 塗装面に何か下準備は必要ですか？

A: 特に必要ありませんが、油脂や揮発油は避けてください。

この製品はシーラントではありませんので、シーリング処理が必要な箇所には予め処理を施してください。ゲルコートは 60-100 番のサンドペーパーでサンディングしてください。また、塗装面にアセトンを使用しないでください。アセトンは乾燥後も除去しにくいある種の溶剤を残すため、これと反応したり塗料が定着しない恐れがあります。

Q: 保管上の特別な注意はありますか？

A: 絶対に凍らせないでください。

水性塗料ですので、凍ってしまうと完全に品質を損ねてしまいます。寒くなるような場所に放置しないでください。

Q: 水性ポリウレタン (LPU) 塗料の上に塗装出来ますか？

A: 出来ますが、Kiwi Grip の上に LPU を塗布することはできません。

LPU は硬化後高い耐水性を持ちますので、乾燥した LPU の上に Kiwi Grip を塗布しても全く問題はありません。しかしながら、乾燥した Kiwi Grip の上に LPU を塗布すると LPU に含まれる溶剤と反応する恐れがあります。これによって Kiwi Grip の塗膜が損傷したり、完全に品質を損ねてしまう場合があります。また、カラーリング目的で LPU を上塗りする場合でも一般的に LPU のほうが耐久性で劣りますので、経年劣化によって元の Kiwi Grip の色が現れて外観を損ねる恐れもあります。